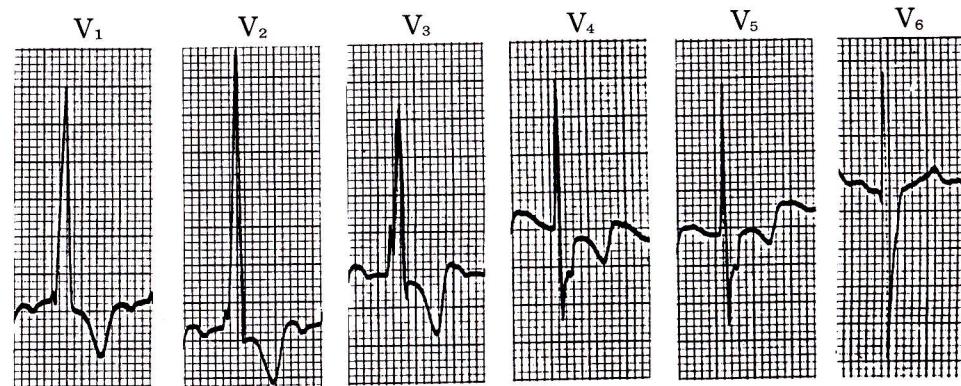
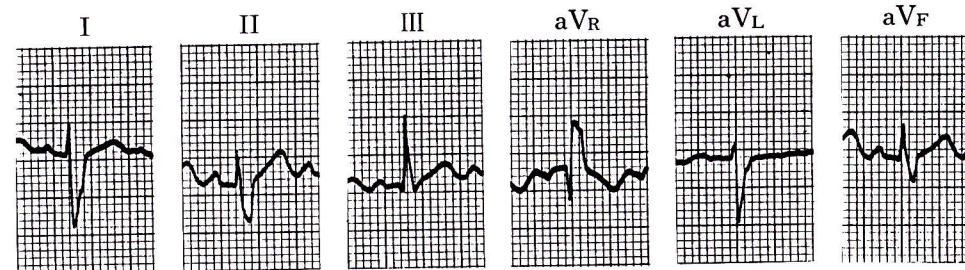


# 症例 21

●3歳 男

●生まれたときよりチアノーゼを認め、ファロー四徴症と診断されている。



- 1) QRS電気軸はどのくらいか。
- 2) V<sub>1</sub>, V<sub>2</sub>のRパタンはどう考えればよいか。

## 右軸偏位, 右室肥大, 完全右脚ブロック

$V_1$ のR波は28mmで, かつ $R/S > 1$ .  $V_1$ の心室興奮時間は0.08秒と延長.  $V_1$ から左側に向かうにしたがってS波が深くなり( $R/S$ が小さくなり),  $V_6$ では $R/S < 1$ . この所見は幼児の右室肥大基

準を満たしている. 電気軸は $+150^\circ$ と右軸偏位である.  $V_1$ から $V_5$ にかけてみられる陰性~2相性T波, ST低下は高度の右室肥大に伴う2次性のST-T変化と考えられる.